

令和7年度当初予算

市長説明

前橋市

令和7年度当初予算案の概要について、ご説明申し上げます。

令和7年度当初予算編成においては、すべてのこどもが自分らしく、笑顔で成長できる環境や社会を整えていくこと、すなわち未来を担う人材を社会全体で育てていくことが、こどもや若者、子育て当事者はもちろん、すべての世代の幸福と前橋市全体の持続的な発展につながっていくという考え方のもとに、関係部署と議論を重ね、「第七次前橋市総合計画」に基づく施策を着実に推進していくとともに、社会情勢の変化や様々な危機にも備えながら、財政の健全化に十分に配慮した予算編成を行いました。

それでは、当初予算案の概要について、ご説明申し上げます。

本市の令和7年度一般会計の歳入歳出予算は、1,578億3,604万円で、対前年度3.5%の増となっております。

はじめに、歳入ですが、市税収入のうち個人市民税は、賃上げによる給与所得の増などの影響により、前年度の定額減税に伴う減収分の約14億4千万円を加味した上で、対前年度で実質約6億4千万円の増額を見込んでおります。また、法人市民税は、物価高の影響や賃上げ促進などの税収減の要素があるものの、特に金融・保険業の業績が堅調と見込まれ、約4億3千万円の増額を見込んでおります。

固定資産税は、新增築家屋の増加等により、約3億6千万円の増額を見込んでおります。

これらに、都市計画税や事業所税等を合わせた市税収入全体では、対前年度5.4%増となる約561億3千万円を見込んでおります。

次に、地方消費税交付金は、物価高や賃金上昇による消費税収の動向から、前年度と比べ3億円の増額を

見込んでおります。

地方特例交付金は、前年度の個人市民税の定額減税に伴う増収が終了することなどから、14億4千万円の減額を見込んでおります。

地方交付税は、国の地方交付税総額の伸びなど、地方財政計画の動向から、実質の交付税である臨時財政対策債の9億円減額も踏まえ、前年度に対して5億円の増額を見込んでおります。

諸収入は、特別融資預託金の元金収入の減などにより、約15億9千万円の減額を見込んでおります。

市債は、庁舎等整備事業や大学整備事業などの事業費が増となることから、前年度と比べ約17億9千万円の増額となっております。

次に、歳出ですが、第七次前橋市総合計画で定める6つの「まちづくりの柱」に沿って、主要な事業や、関連する事業についてご説明いたします。

1 教育・人づくり

誰もが社会の中で豊かな心と健やかな^{からだ}身体を身に付けながら、夢に向かって前向きに成長できるまちづくりに取り組んでまいります。

G I G Aスクールについては、現行の成果や課題を踏まえ、セカンドG I G A端末の更新に向けた準備を進め、情報活用能力のさらなる育成に取り組んでまいります。

また、特別支援学級介助員や学習サポーターを増員するとともに、特別支援学校の増築に向けた実施設計を行い、多様な児童生徒に応じた学習環境の充実を図ります。

青少年の健全育成では、スクールアシスタントやオープンドアサポート事業により、引き続き不登校対策に取り組んでまいります。

また、小学校の就学時健康診断時における保護者の利便性向上を図るため、決められた日程で受診ができなかった家庭を対象に、新たに検診予備日を設けます。

さらに、外国語教育の推進に向けて、外国人の指導助手（ALT）を増員し、英会話スキルや国際理解の向上に向けた学習環境の充実を図ります。

部活動の地域移行については、専門職員を引き続き配置するとともに、モデル校における実践研究を通じて、本格実施に向けた準備を進めてまいります。

学校と地域住民が一体となって教育活動に取り組む学校運営協議会について、全ての市立小中学校に導入し、学校と地域との連携をさらに深めてまいります。

また、学校の施設開放による利用者の利便性向上と地域の開放管理者の負担軽減を図るため、全ての市立小中学校にキーボックスを設置します。

学校教育施設の整備では、令和6年度から着手した中学校と市立前橋高校の体育館へのエアコン設置を引き続き実施するとともに、天川小学校と細井小学校の校舎の長寿命化改良工事に着手します。

社会教育施設の整備では、上川淵公民館の大規模改修及び増築の工事に着手するほか、元総社公民館の空調

設備改修を行います。

前橋工科大学においては、学生の学修環境と教員の研究環境の向上を図るため、2号館と図書館の合築による建て替え工事に着手します。

文化財の保護・活用では、臨江閣の防火対策工事に着手するとともに、旧本間酒造の母屋の防水補修を行い、文化財を市民の宝として後世に伝えてまいります。

また、図書館については、新たな市立図書館本館の整備に向けて、先進地視察やアドバイザー会議を通じて、必要な図書館機能や運営内容の検討を進めます。

2 結婚・出産・子育て

それぞれの結婚や出産の希望が叶えられ、子育てを楽しむことができるまちづくりに取り組んでまいります。

まずは、学校給食について、昨年6月に開始した市立中学校に加え、令和7年度の1学期分から市立小学校の給食費の無償化を行います。すべてのこども

が安心して義務教育を受ける権利を保障し、保護者の経済的負担の軽減を図ることは、家庭や地域社会の安定と発展に繋がると考えております。

「こども基本条例」及び「こども計画」について、令和8年度からのスタートに向け、ワークショップなどで聴取したこどもや子育て関係者の意見を反映させながら、こどもの健やかな成長に向けた施策案の検討を行います。

また、地域子育て支援拠点に新たに第二保育所を追加し、子育て支援の充実を図ります。

さらに、病児保育の充実のため、新たに Web 予約システムを導入し、利用者の利便性向上と施設側の負担軽減を図ります。

また、休日保育を実施する施設に対し、経費の一部補助を新たに行い、安定的な事業運営を支援します。

ひとり親家庭における支援では、父母の専門教育訓練や資格取得への支援を充実します。

3 健康・福祉

人々が支え合い、誰もが自分らしく健康に暮らせる共生のまちづくりに取り組んでまいります。

市内の公的病院等に対する助成については、周産期医療や小児医療への支援を拡充し、安心して出産や子育てができる体制づくりを推進します。

また、前橋高等看護学院及び前橋准看護学校が行う学生確保に向けた入学金の免除等の取組と連携することにより、学生の就学支援及び医療人材の確保を図ります。

さらに、口腔機能の衰えは、全身の健康にも影響を与えることから、新たな取組として、歯科健診の受診対象に63歳と68歳を追加し、市民のさらなる健康づくりをサポートします。

予防接種のうち带状疱疹ワクチンについては、65歳等を対象とした定期接種化に対応するとともに、50歳以上への接種助成も引き続き行います。

また、人と動物の共生社会の実現のため、動物愛護

管理センターの建設を行うとともに、動物愛護推進員を設置し、犬・猫等の適正飼^し養^{ょう}等の普及啓発を推進します。

さらに、地域福祉を視覚的に分かりやすく市民や関係者へ周知する小冊子を作成するほか、庁内連携を進めるための研修を実施するなど、地域福祉を推進するための第3次地域福祉計画の作成に向けた取組を地域の皆さんと一緒に進めます。

生活困窮者の自立支援では、住居確保給付金の対象に引越し費用を新たに追加し、居住環境の確保を支援します。

また、65歳以上の高齢者宅を対象に民間事業者が見守り機能付きライトを設置する事業を新たに開始するほか、緊急通報電話設置については、住民税非課税世帯に加え、新たに課税世帯にも対象を広げ、ひとり暮らし高齢者等に対する見守り支援の充実を図ります。

障害福祉では、共生社会の実現へ向け、スポーツフェスタや先進事業所へのアートバスツアーを引き

続き開催するほか、アートグッズを作成・販売し、売り上げの一部を制作者に分配する仕組みの構築により、障害者の賃金向上を支援します。

4 産業振興

産業を地域に根付かせ、その活力を原動力にして前進するまちづくりに取り組んでまいります。

雇用対策では、本市への就職に対する各種支援や外国人雇用セミナー、市内企業PRイベントを開催するほか、ハローワークと連携しながら、多様なメニューで雇用を後押しします。

市内企業への経営支援では、設備投資支援の対象に新たにリース設備を追加するほか、省エネ設備支援の補助上限額を引上げ、企業の設備投資を支援します。

また、副業人材活用型や転職型の補助メニューを新たに追加し、市内企業のニーズに応じた人材確保支援を拡充します。

さらに、前橋商工会議所と市内企業による県内外の

展示会や異業種交流会への出展を支援し、ビジネスマッチングの推進を図ります。

産業立地では、駒寄スマート^{インターチェンジ} I C 産業団地において造成工事及び立地企業の公募を行うほか、大前田樋越産業団地では、測量及び基本設計に取り組みます。

また、まちなかのさらなる魅力向上のため、オーナーが店舗の一角を貸し出すための改修費用を助成するまちなか魅力創出支援を新たに創設します。

グリーンドーム前橋では、3年ぶりとなるG1の「^{ともひとしんのうはい}寛仁親王牌・世界選手権記念トーナメント」を開催します。

就農支援では、担い手の確保・育成のため、認定農業者等に対する機械の導入や施設整備を引き続き積極的に支援するとともに、セカンドキャリアで新規就農した農業者に対して農業用機械購入費用の一部を助成するほか、農家での農作業体験を通じたボランティア事業を新たに創設します。

また、新規就農者に対する奨励金の対象年齢を55歳

未満から60歳以下へ拡充するほか、新たに農業機械のシェアリングサービスを導入し、新規就農を促進します。

さらに、就農後のミスマッチを防ぐため、就農希望者が農業法人等で1か月間の就農体験を行う農業版インターンシップ事業を新たに開始します。

園芸振興では、園芸農家の設備更新を支援するため、法人の認定農業者を対象としたビニールハウス等の被覆材張替費用の一部助成を新たに創設します。

また、環境配慮型の農業を推進するため、水田から発生するメタンガスの抑制のためのJ-クレジット制度活用に向けた研究を進めるほか、環境にやさしい^{せいぶんかいせい}生分解性マルチの購入費の一部助成を新たに創設します。

畜産関連では、耕畜連携による環境配慮型の農業を推進するため、飼料用米の生産農家に対する助成を充実させるほか、堆肥活用機器導入費用の一部を支援します。

また、豚熱に対する緊急対策として、緩衝帯の整備箇所数を拡充して実施します。

さらに、農地や農業用施設などの保全活動を行う援農ボランティア的な団体に向けて、団体の新設や合併に対する助成を新たに追加するなど、団体の高齢化や後継者不足などの課題に対応します。

森林整備では、間伐材の搬出費用の助成を充実するほか、私有林の下草刈りや獣害防止緩衝帯の設置に対する助成を新たに創設します。

5 シティプロモーション

地域のブランド力を強化し、人々の関心や愛着を高め、住んでみたい、住み続けたいまちづくりに取り組んでまいります。

本市の公式LINEアカウントをリニューアルし、利用者のニーズに合わせた情報配信などの機能を強化することで、市民が知りたい情報をすぐに入手できる環境を整えます。

また、地域交流活性化アプリ「めぶくコミュニティ」を活用して、公共交通や子育て施策など、幅広い分野で市民の意見を聴くほか、「まえばしデジタルサポーター」のさらなる増員を進め、デジタルに不慣れな市民が身近な場所で相談できる体制を拡充します。

さらに、市民活動支援として、ふるさと納税制度を活用し、社会課題に取り組むNPO法人等とその活動を応援したい寄附者を繋げ、活力ある地域づくりの推進を図ります。

新たに開館する前橋空襲と復興資料館では、開館記念事業として、戦災後に前橋公園で公演した歌舞伎を再現します。

アーツ前橋では、収蔵品展をはじめとした各種展覧会を実施するほか、こども向けワークショップの開催など、地域と連携した取組を引き続き実施します。

文学館では、各種企画展を実施するほか、ホールを防音扉に交換するとともに、施設周辺のマンホールを朔太郎デザインに改修するなど、新たな来館者の増加

に向けて取り組めます。

また、体育施設の環境向上に向けて、日吉体育館のエレベーター設置工事に引き続き取り組むほか、宮城総合運動場トイレの洋式化工事を行います。

さらに、令和11年度の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向け、旧広瀬中学校を活用したビーチバレーコートの新設工事に着手するほか、市民体育館のバレーボール用の床基礎工事を行うなど、開催に向けた準備を進めます。

観光振興では、新たに台湾インバウンド誘致として、旅行会社やメディアを招聘し、冬の赤城山しょうへいやいちご狩りなどを体験してもらい、パッケージツアーの商品化などを進めます。

また、令和7年4月から放映される前橋を舞台にしたアニメ「前橋ウィッチーズ」のファン来訪を見込み、ロケ地マップの作製をはじめ、上毛電鉄やバスのラッピングなど、アニメの聖地としての魅力を高めます。

赤城公園整備では、引き続き県と連携して施設整備を進めていくほか、前橋駅前など人が多く集まる場所に赤城山の気温を表示する案内板を設置し、避暑地としての赤城山のPRに取り組みます。

移住・定住促進では、支援金助成や相談業務などを引き続き実施していくほか、移住・定住総合サイトを本市の魅力がより伝わる内容にリニューアルします。

歴史まちづくりでは、公道上の案内地図を旧町名案内板に更新するヒストリックランドマーク整備に引き続き取り組むほか、歴史的建造物の保全を支援します。

また、中心市街地や新前橋駅東口における民間再開発事業を支援するとともに、広瀬川河畔緑地の整備を進め、まちなか等の魅力向上やにぎわいの創出に、引き続き取り組みます。

さらに、市内業者による住宅改修費用の一部を助成する住宅リフォーム補助について、利用者の利便性向上のため、オンライン申請を新たに開始します。

6 都市基盤

都市インフラの計画的な整備と環境への配慮により、持続的に発展していくまちづくりに取り組んでまいります。

交通政策では、JR群馬総社駅周辺の朝夕の交通渋滞対策の一環として、東口ロータリーひがしぐちの拡張工事を実施します。

また、新たに高校生世代の通学バス定期代を半額助成し、自転車による交通事故の防止や子育て世代の負担軽減を図ります。

さらに、マイタクについては、マイナンバーカードを保有していない方の利用も可能とし、利用者の利便性の向上を図ります。

自治会の集会施設の新増築等を支援する取組では、建築費用の値上がりを考慮して、計画時点の対象経費から1割増しでの申請を可能とするほか、改修では年度中の申請を2回まで可能とし、利用しやすい制度に見直します。

防災では、自助・共助による地域防災力の向上に向けて、市内の浸水想定区域をモデルケースとして、地区防災計画の策定を支援します。

環境政策では、家庭用ゼロカーボン補助のメニューに新たに太陽光発電設備導入加算を追加し、対象機器の導入と合わせて支援します。

また、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」について、本市公式LINEからも閲覧可能とし、より利用しやすいサービスにします。

さらに、国や群馬県と連携しながら、本町二丁目五差路交差点の課題解消やまちなかウォークブルの推進に向け、官民連携のまちづくりと連動した検討を行います。

道路整備では、新たに力丸団地通線と徳沢上細井線^{とくざわ}の2路線の整備に着手するほか、都市計画道路や、新市建設計画及び新市基本計画に位置づけられた路線の整備、橋りょうや舗装の長寿命化修繕計画に基づく維持修繕などを引き続き計画的に実施します。

また、道水路の補修や改良工事、農業用水路等の維持管理について、当初予算を増額し、より計画的な工事発注を実施します。

さらに、機能的な土地利用や防災機能の向上を目的として、9地区の土地区画整理事業を引き続き進めてまいります。

公園整備では、前橋総合運動公園拡張用地の第二球場を引き続き整備するほか、荻窪公園県道南ゾーンのコミュニティ広場整備を行います。

また、前橋公園、るなぱあく、臨江閣を一体とした指定管理者制度を導入し、民間活力による前橋公園エリアのさらなる利活用を図ります。

さらに、消防力の強化のため、中央消防署赤坂分署の建設工事を引き続き実施するとともに、はしご付き消防自動車や水槽付き消防ポンプ自動車など、消防車両や救急車両を順次更新してまいります。

水道事業では、災害発生時に重要な役割を担う病院などに給水する管路の耐震化を引き続き実施するほか、

遠方監視設備の改修や管路更新計画の策定に着手します。

下水道事業及び農業集落排水事業においては、老朽化した^{かんきょ}管渠の再生を図り、施設の長寿命化に努めてまいります。また、水質浄化センターの更新を引き続き計画的に実施してまいります。

これらのほか、行財政運営の面では、「選択と集中」による事業の重点化と業務の効率化を実現するため、スピード感とチャレンジ精神をもって取り組んでまいります。

また、市職員研修では、多業種との交流や最新の研修コンテンツを通じて、マネジメント力や市民対応力の強化を図ります。

さらに、市民サービス向上のため、市役所の税証明窓口にセミセルフレジを導入します。

以上が当初予算に盛り込んだ主要な施策です。

本市においては、原材料価格やエネルギー価格を

はじめとした物価の上昇や、高齢化に伴う医療、介護等の社会保障費の増加により、厳しい財政状況が今後も続くものと考えております。

このような中、令和7年度の当初予算については、各予算事業の課題なども各部局と一緒に確認した上で、タウンミーティングなどでいただいた市民や企業の皆さんの声を取り入れながら、一人ひとりの市民に寄り添うとともに、未来に向けた投資を行うといった視点に立ち、予算編成を行ってまいりました。

今後に向けては、財政の健全化に十分留意しながら予算の有効活用を進め、市民の皆さんの笑顔があふれる前橋市になるよう、職員が一丸となって、施策のさらなる充実を進めてまいります。

議会の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上、当初予算案の大要について、ご説明いたしました。